科目名	小児看護と看護技術【状況に応じた看護】	講師	非常勤講師
履修時期	2年　後期	単位数	1
		時間	30(内15)

＜科目設定理由＞

小児の発達と看護【概論】の知識を踏まえた上で、小児が罹患しやすい疾患と症状を知り、様々な疾患に対応できるよう様々な状況や疾患における小児看護の基本的知識を習得できるようにする。
小児は自分で体をケアすることが難しく、家族の援助を受けながら治療を受ける。そのため小児が疾患を持ちながら、健康な成長発達をするためには、その家族の協力が不可欠である。その関係性を理解しつつ、疾患を持つ様々な状況におかれた子どもと家族の看護について理解できるようにする。

学習目標	1. 小児が罹患しやすい疾患・症状を理解しその看護について理解できる 2. 子どもの成長発達・健康上の課題に応じた看護を理解できる
学習内容	1. 急性期にある子どもと家族への看護 1）肺炎 2）急性胃腸炎 3）気管支喘息 2. 慢性期にある子どもと家族への看護 1）ネフローゼ症候群 2）川崎病 3）I型糖尿病 4）筋ジストロフィー 5）アトピー性皮膚炎 3. 終末期にある子どもと家族の看護 1）白血病 2）神経芽腫 4. ハイリスク新生児と家族への看護 1）低出生体重児 2）胎便吸引症候群 3）呼吸窮迫症候群 4）低血糖 5. 先天的な健康問題をもつ子どもと家族への看護 1）二分脊椎 2）発育性股関節形成不全 3）脳性麻痺 6. 心身障がいのある子どもと家族への看護 1）自閉スペクトラム症 2）注意欠如・多動障がい
授業形態	講義
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	ナーシング・グラフィカ　小児看護学③小児の疾患と看護
参考資料・図書	ナーシング・グラフィカ　小児看護学①小児の発達と看護 ナーシング・グラフィカ　小児看護学②小児看護技術
履修上の留意事項・受講条件	予習においてはテキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読しておく。復習においては学習内容を自主的に整理し、理解できない箇所を明確にしながら主体的に学習すること。